

## 梅雨、台風等による出水期を控え、万全を期す —

# 風水害対策訓練を実施 (H26.5.28)

～即時・即応性の確立に向け、災害対応に必要な基礎的事項を確認～



なかつくに まさむね  
中津國 護

### <訓練想定>

- ▶ 山陰沖に停滞している前線と台風の影響により、中国地方各地で暴風、大雨となり、特に広島県内、島根県西部において暴風や大雨、高波に見舞われた
- ▶ 中国地方整備局管内では、江の川堤防決壊、堤防決壊による国道54号 [安芸高田市] の通行止め、土砂崩落による国道54号 [三次市] ・尾道道 [三次市] ・国道9号 [江津市] の通行止め、広島港の高潮堤防整備箇所の波浪による損傷、国営備北丘陵公園内での法面崩落等、甚大災害が発生

訓練は、上記訓練想定に基づき、中国地方整備局に災害対策本部を設置し、午前9時30分、栗田中国地方整備局長による訓示で開始した。

#### 中国地方整備局長による訓示

- 決められた行動の実行性を確認すること
- 関係機関とのスムーズな連携体制を確認すること
- 事象に対して想像力を働かせて対応すること



訓練では、国道54号の法面崩落、江の川堤防の破堤、土砂崩落による大規模な河道閉塞、広島港における港湾施設の被災などの事象が発生するなか、河川班、道路班、港湾空港班等の各班において、被災状況や洪水予報、交通情報等の迅速かつ的確な伝達や復旧工法の検討などの訓練が行われた。

#### 各班からの応急復旧状況などの報告状況



道路班



河川班



港湾空港班

また、大規模な土砂崩落や国道54号の法面崩壊、広島港被災の情報を受け、防災ヘリコプターによる河道閉塞状況や道路の通行止め状況などの迅速な把握・報告の訓練を行った。

あわせて、衛星小型画像電送装置（Ku-SAT II）による江の川堤防破堤箇所からの現場状況報告や、気球空撮システムによる海上からの浮遊物回収状況報告など、情報通信機器等を活用した情報伝達訓練を行うとともに、内水排除のための安芸高田市への排水ポンプ車出動などの災害対策機械の実働訓練を行った。

被災自治体への情報連絡員（リエゾン）を派遣による連携強化と情報共有訓練を行い、広島県からの派遣要請に対するTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣訓練も行った。



ヘリテレによる被災状況報告



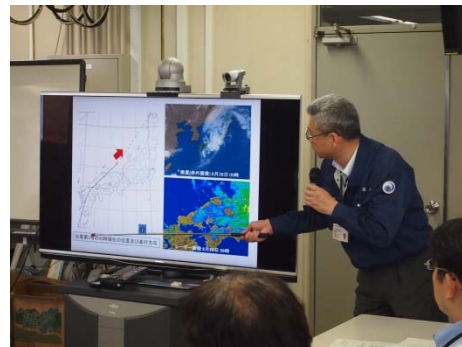
Ku-SAT IIによる被災状況報告



気球空撮システムによる  
上空調査状況



テレビ会議システムを活用した  
被災状況報告



広島地方気象台による  
気象状況に関する情報提供

最後に、14時55分より災害対策本部会議を開催し、各班より被災状況、復旧状況などの現状報告や復旧に向けた今後の予定などが報告され、災害対策本部と支部、自治体、関係機関などとの情報共有を行った。

今回の訓練では、被災状況の把握・伝達や災害対策機械の実働訓練のほか、関係機関や地方公共団体などの関係機関（87機関、約1,000人）と連携した訓練（情報共有、リエゾン派遣、各種調整）を行うことで、より実践的な訓練を行うことができた。

今後は、訓練で明らかになった課題や反省点を踏まえ、即時・即応性の確立に向けて全力で取り組んでいく。

#### 中国地方整備局長による講評

- 各々の行動が、個人的・組織的に適切なものとなっていたか、確認すること。
- 災害対応には情報共有が重要。災害対策本部を設置して職員を集めている意義について、改めて確認すること。
- 昨今の気象状況から、風水害の可能性は高いと考えておくべき。今回の訓練での課題、反省を踏まえ今後の対応に活かしてほしい。